学校番号	3001

令和２年度　環境緑化科

教科	農業	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

皆さんが、造園や環境の学習を通じて興味・関心を持ったことや将来の進路のために身に着けておきたい知識や技術の習得などの課題を解決するために、専門的な知識と技術を深めこれを応用できるように、自発的、創造的に取り組みながら学びます。

2　学習の到達目標

・造園や環境に関する高度な技術や高い専門性を備えた研究・調査・製作活動への取り組みを通じて専門的な知識や技術を深化させる。
・卒業後の進路に必要な問題解決の能力、自発的創造的な態度及び自己教育力を習得する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	課題のより良い解決を目指して主体的に意欲的に取組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	課題の解決に必要な知識と技術をもって、適切な判断、分析、発表の総合的な能力を身に付けている。	問題のより良い解決目指すために必要な技術を身に付け、解決に向け合理的は計画を立案し、その技術を適切に活用している。	問題解決に必要なより高度な知識や技術を、問題解決のための体系的技能として身に着ようと努めている。
評価方法	実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等	実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等	実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等	実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1・2学期	調査・研究活動	課題の設定 予備調査 計画立案 調査・記録 中間発表（1学期末） 計画再検討・修正 まとめ	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 造園や環境に興味・関心を持ち、解決すべき課題を決定する能力を身についている。 b:設定した課題の解決を行うための予備学習、予備調査を行い、問題解決への計画を立案する能力が身についている。 c:問題解決に必要な調査法、施工技術や知識を習得し、製作・調査研究活動に応用する能力が身についている。 d:行った調査や製作の成果を自己評価し、分析後さらに方法や計画に修正を加えて実施する能力が身についている。	実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 作品 自己評価等
	作品製作	課題の設定 設計計画 材料・技術選定 製作 中間発表（1学期末） 再検討・修正 仕上	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 		
3学期	活動発表	まとめ プレゼンテーション	○	○ ○			a:問題・課題解決の経過や研究成果を適切にまとめる能力が身についている。 b:まとめのプレゼンテーション能力が身についている。	実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 作品 自己評価等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。